

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：33005

学校名：東栄中学校

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果			分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 反復横跳び、20m シャトルラン、50m 走、 立ち幅跳び	○前回の記録より下回った種目 握力、上体起こし、長座体前屈、ハンドボール投げ	・男子は実技授業で行っている補強運動が敏捷性の向上につながっていると思われる。昨年度課題であった種目は向上している。筋力、柔軟性、投力向上が課題。
体力・運動能力 ＜女子＞	○前回の記録と同程度もしくは上回った種目 長座体前屈、反復横跳び	○前回の記録より下回った種目 握力、上体起こし、20m シャトルラン、50m 走、 立ち幅跳び、ハンドボール投げ	・女子も実技授業で行う補強運動が敏捷性向上につながっている。昨年の生徒よりも運動を好む生徒が少ない傾向にあり、運動意識向上が課題。
運動・スポーツへの意識、 運動習慣	・運動やスポーツが好き R6 男 85.7、女 86.5 R7 男 95.4、女 76.3 ・体育の授業は楽しい R6 男 91.1、女 84.0 R7 男 89.4、女 87.3	・朝食を毎朝食べている。 R6 男 71.0、女 71.2 R7 男 92.4、女 87.3 ・スマホなど平日5時間以上視聴 R6 男 23.8、女 25.5 R7 男 29.7、女 21.8	・男女ともに「運動・スポーツが好き」、「体育の授業は楽しい」割合は高い。引き続き運動の機会を増やす工夫が必要。朝食を毎朝食べていない生徒が減少している。スマホ視聴は年ごとに差はあるが、全国平均と比べ高い状態が続いている。
三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実		③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組		
具体的な取組	・生活習慣についての学習の推進 ○保健の授業で調和のとれた生活の必要性についての理解を深める。日常生活の中の「運動・食事・休養」を関連付ける授業の実施。 ○栄養教諭や養護教諭と協力し、食育や健康に関する関心を高めていく。(ランチルーム給食時、栄養教諭からの指導を実施) ・実技授業における運動量の確保に向けた授業改善 ・ICTを活用した学習活動の充実	・運動の機会の充実を図る環境整備の推進 ○体育的行事の実施 ○昼休みの体育館・グラウンド開放で運動量を確保する。(委員会による用具貸し出しや呼びかけ)	・各教科の内容を関連付けた健康教育の推進 ○保健体育科の授業などを通じ、心身の健康の保持増進や運動の必要性について指導の充実を図る。 ○学習カードなどを活用して、健やかな体づくりへの思考力・判断力を高める。 ・外部講師の活用など家庭・地域との連携 ○性に関する講話を実施する。(Ⅰは1、2年生対象で隔年実施。令和9年度に実施予定。Ⅱは3年生を対象に毎年実施。)
家庭・地域との連携・協働	○「性に関する講話」では助産師講師を依頼し、3学年保健で「性感染症」、「大人になる君たちへ」の授業を実施。保護者の参加も可能。 ○全国体力・運動能力、運動習慣などの調査結果の活用した授業改善 ○学校評議員会、学校関係者評価などの活用		